



SIP を実行しているシスコ以外の電話機の設定

Cisco Unified Communications Manager は、SIP 対応の Cisco Unified IP Phone、および RFC3261 に準拠し、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機をサポートしています。この付録では、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機を設定する方法について説明します。

この付録は、次の項で構成されています。

- 「SIP を実行しているサードパーティ製の電話機の設定チェックリスト」(P.B-1)
- 「SIP を実行している電話機の設定との相違点」(P.B-3)
 - 「Cisco Unified Communications Manager がサードパーティ製の電話機を識別する方法」(P.B-4)
 - 「SIP を実行しているサードパーティ製の電話機と TFTP」(P.B-5)
 - 「SIP を実行しているサードパーティ製の電話機のダイジェスト認証の使用可能化」(P.B-5)
 - 「DTMF 受信」(P.B-5)
 - 「SIP を実行しているサードパーティ製の電話機用のライセンス」(P.B-5)
- 「参考情報」(P.B-6)

SIP を実行しているサードパーティ製の電話機の設定チェックリスト

Cisco Unified Communications Manager は、SIP 対応の Cisco Unified IP Phone、および RFC3261 に準拠し、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機をサポートしています。表 B-1 に、Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用して、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機を手動で設定する手順を示します。

SIP を実行しているサードパーティ製の電話機の設定チェックリスト

表 B-1 SIP を実行しているサードパーティ製の電話機の設定チェックリスト

設定手順	手順および関連項目
ステップ 1 電話機に関する次の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none"> • MAC アドレス • 電話機の物理的なロケーション • 電話機に関連付ける Cisco Unified Communications Manager ユーザ • パーティション、コーリングサーチスペース、およびロケーションの情報（使用する場合） • 電話機に割り当てる回線および関連 DN の数 	
ステップ 2 十分なデバイス ライセンス ユニットが使用可能かどうかを調べます。不足している場合は、追加のデバイス ライセンス ユニットを購入してインストールします。[サードパーティの SIP デバイス(基本)(Third-party SIP Device (Basic))] は 3 つのデバイス ライセンス ユニートを消費し、[サードパーティの SIP デバイス(拡張)(Third-party SIP Device (Advanced))] は 6 つのデバイス ライセンス ユニートを消費します。	<p>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「必要なライセンス ユニット数の計算」</p> <p>『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「ライセンス ファイルの取得」</p>
ステップ 3 ダイジェスト ユーザにするエンド ユーザを設定します。 (注) SIP を実行しているサードパーティ製の電話機が認可 ID (ダイジェスト ユーザ) をサポートしない場合は、サードパーティ製電話機の DN と一致するユーザ ID を持つユーザを作成してください。たとえば、1000 という名前のエンド ユーザを作成し、電話機に 1000 という DN を作成します。このユーザを電話機に割り当てます（「 ステップ 9 」を参照）。	「 エンド ユーザの設定 」(P.113-11)
ステップ 4 SIP プロファイルを設定します。または、デフォルト プロファイルを使用します。SIP プロファイルは、[電話の設定(Phone Configuration)] ウィンドウを使用して、SIP を実行している電話機に追加されます。 (注) SIP を実行しているサードパーティ製の電話機は、[SIP プロファイルの設定(SIP Profile Configuration)] ウィンドウの [SIP プロファイル情報(SIP Profile Information)] セクションだけを使用します。	「 SIP プロファイルの設定 」(P.102-12) 「 Cisco Unified IP Phone の設定 」(P.92-34)
ステップ 5 電話機のセキュリティ プロファイルを設定します。ダイジェスト認証を使用するには、新しい電話機セキュリティ プロファイルを設定する必要があります。自動登録用に提供されている標準のノンセキュア SIP プロファイルの 1 つを使用する場合は、ダイジェスト認証を使用可能にできません。	「 SIP を実行しているサードパーティ製の電話機のダイジェスト認証の使用可能化 」(P.B-5) 「 電話機のセキュリティ プロファイルの設定 」(P.27-1)

表 B-1 SIP を実行しているサードパーティ製の電話機の設定チェックリスト（続き）

設定手順	手順および関連項目
ステップ 6 [新規電話を追加(Add a New Phone)] ウィンドウから [サードパーティの SIP デバイス (拡張)(Third-party SIP Device (Advanced))] または [サードパーティの SIP デバイス (基本)(Third-party SIP Device (Basic))] を選択して、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機を追加し、設定します。 (注) [サードパーティの SIP デバイス (基本)(Third-party SIP Device (Basic))] は 1 つの回線をサポートし、3 つのライセンス ユニットを消費します。 [サードパーティの SIP デバイス (拡張)(Third-party SIP Device (Advanced))] は、8 つの回線とビデオをサポートし、6 つのライセンス ユニットを消費します。	「Cisco Unified IP Phone の設定」(P.92-34)
ステップ 7 電話機に対して回線 (DN) を追加し、設定します。	「電話番号の設定」(P.61-1)
ステップ 8 [エンドユーザの設定(End User Configuration)] ウィンドウで、[デバイスの割り当て(Device Associations)] を使用して、SIP を実行している電話機を選択し、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機をユーザに関連付けます。	「エンドユーザとデバイスとの関連付け」(P.113-18)
ステップ 9 [電話の設定(Phone Configuration)] ウィンドウの [ダイジェストユーザ(Digest User)] フィールドで、「ステップ 3」で作成したエンドユーザを選択します。	「短縮ボタンまたは固定短縮ダイヤルの設定」(P.92-41)
ステップ 10 SIP を実行しているサードパーティ製の電話を設置して電源をオンにし、ネットワーク接続を確認して、ネットワーク設定を行います。	SIP を実行している電話機に付属のアドミニストレーション ガイドを参照してください。
ステップ 11 SIP を実行しているサードパーティ製の電話機でコールを発信します。	SIP を実行しているサードパーティ製の電話機に付属のユーザ ガイドを参照してください。

SIP を実行している電話機の設定との相違点

表 B-2 では、Cisco Unified IP Phone と SIP を実行しているサードパーティ製の電話機の設定を比較してその相違点の概要を示します。

表 B-2 SIP を実行している電話機のモデル設定の比較

SIP を実行している電話機	中央集中型 TFTP との統合	MAC アドレスの送信	ソフトキーファイルのダウンロード	ダイヤルプランファイルのダウンロード	Cisco Unified Communications Manager のフェールオーバーとフォールバックのサポート	リセットと再起動のサポート
Cisco Unified IP Phone 7911、7941、7961、7970、7971	可	可	可	可	可	可
Cisco Unified IP Phone 7940、7960	可	可	不可	可	可	可

表 B-2 SIP を実行している電話機のモデル設定の比較 (続き)

SIP を実行している電話機	中央集中型 TFTP との統合	MAC アドレスの送信	ソフトキーファイルのダウンロード	ダイヤルプランファイルのダウンロード	Cisco Unified Communications Manager のフェールオーバーとフォールバックのサポート	リセットと再起動のサポート
Cisco Unified IP Phone 7905、7912	可	可	不可	不可	可	可
SIP を実行しているサードパーティ製の電話機	不可	不可	不可	不可	不可	不可

Cisco Unified Communications Manager の管理ページを使用すると、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機を設定できます (「参考情報」(P.B-6) を参照)。また、管理者は、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機上で設定手順を実行する必要もあります。次の例を参照してください。

- 電話機のプロキシアドレスを Cisco Unified Communications Manager の IP アドレスまたは Fully Qualified Domain Name (FQDN; 完全修飾ドメイン名) にする。
- 電話機の電話番号を、Cisco Unified Communications Manager の管理ページでデバイスに設定した電話番号と一致させる。
- 電話機のダイジェストユーザ ID (認可 ID と呼ばれる) を、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで設定したダイジェストユーザ ID と一致させる。

詳細については、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機に付属のマニュアルを参照してください。

Cisco Unified Communications Manager がサードパーティ製の電話機を識別する方法

SIP を実行しているサードパーティ製の電話機は MAC アドレスを送信しないため、ユーザ名を使用して自分自身の身元を証明する必要があります。

REGISTER メッセージには次のヘッダーが含まれています。

```
Authorization: Digest
username="swhite",realm="ccmsipline",nonce="GBauADss2qoWr6k9y3hGGVDAqnLfoLk5",uri="sip:172.18.197.224",algorithm=MD5,response="126c0643a4923359ab59d4f53494552e"
```

ユーザ名 swhite は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウに設定されているエンドユーザと一致する必要があります (「エンドユーザの設定」(P.113-11) を参照)。管理者は、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [ダイジェストユーザ (Digest User)] フィールドで、サードパーティ製 SIP 電話機にユーザ (たとえば swhite) を設定します (「Cisco Unified IP Phone の設定」(P.92-34) を参照)。



(注)

各エンドユーザ ID は、([電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウの [ダイジェストユーザ (Digest User)] フィールドで) 1 つのサードパーティ製電話機だけに割り当てることができます。同じエンドユーザ ID がダイジェストユーザとして複数の電話機に割り当てられている場合、そのエンドユーザ ID が割り当てられているサードパーティ製電話機は正しく登録されません。

SIP を実行しているサードパーティ製の電話機と TFTP

SIP を実行しているサードパーティ製の電話機は、Cisco Unified Communications Manager TFTP サーバを使用して設定されません。お客様が、ネイティブ電話機設定メカニズム（通常は、Web ページまたは tftp ファイル）を使用して、電話機を設定します。お客様は、Cisco Unified Communications Manager データベース内のデバイスおよび回線の設定と、ネイティブ電話機設定の同期を保つ必要があります（たとえば、電話機の内線番号 1002 と Cisco Unified Communications Manager の 1002）。さらに、回線の電話番号が変更された場合、Cisco Unified Communications Manager の管理ページとネイティブ電話機設定メカニズムの両方でその電話番号が変更されていることを確認してください。

SIP を実行しているサードパーティ製の電話機のダイジェスト認証の使用可能化

SIP を実行しているサードパーティ製の電話機のダイジェスト認証を使用可能にするには、管理者が電話セキュリティ プロファイルを作成する必要があります（「[電話機のセキュリティ プロファイルの設定](#)」(P.27-1) を参照）。[電話セキュリティプロファイルの設定 (Phone Security Profile Configuration)] ウィンドウで、[ダイジェスト認証を有効化 (Enable Digest Authentication)] チェックボックスをオンにします。セキュリティ プロファイルの設定後、管理者は、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウを使用して、そのセキュリティ プロファイルを SIP を実行している電話機に割り当てる必要があります。このチェックボックスがオフである場合、Cisco Unified Communications Manager は、エンドユーザ ID によって電話機を識別するためにダイジェスト認証を使用し、ダイジェストパスワードを確認しません。このチェックボックスがオンである場合、Cisco Unified Communications Manager はパスワードを確認します。



(注)

Cisco Unified Communications Manager は、SIP を実行しているサードパーティ製の電話機からの Transport Layer Security (TLS) をサポートしません。

DTMF 受信

Dual Tone MultiFrequency (DTMF; デュアル トーン多重周波数) 受信を要求するには、Cisco Unified Communications Manager の管理ページの [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウに表示される [DTMF 受信が必要 (Require DTMF Reception)] チェックボックスをオンにします。

SIP を実行しているサードパーティ製の電話機用のライセンス

SIP を実行しているサードパーティ製の電話機のライセンスには、次の制限が適用されます。

- [サードパーティの SIP デバイス (基本) (Third-party SIP Device (Basic))]：ビデオ コールはサポートされません。ビデオの実行は、オファー / アンサー プロセスの中で発生します。ビデオのネゴシエーションが許可されない SIP デバイスからのオファーまたはアンサーの中で、ビデオ関連メディアが提供された場合、コールのビデオに関連しない部分だけが発信先に展開されます。同様に、メディアのネゴシエーションが許可されない SIP エンドポイントは、Cisco Unified Communications Manager から送信された Secure Device Provisioning (SDP) のビデオ関連メディアを受信しません。

- [サードパーティの SIP デバイス (拡張)(Third-party SIP Device (Advanced))] および [サードパーティの SIP デバイス (基本)(Third-party SIP Device (Basic))] : Cisco 固有の SIP 拡張はサポートされません。サポートされない Cisco 固有の SIP 拡張には、サービス URI、ヘッダー拡張、ダイアログ サブスクリプション、リモート コール制御の専用 mime タイプなどがあります。Cisco Unified Communications Manager は、拡張機能の使用が許可されない SIP を実行している電話機から送信された、サービス要求 URI (コール ピックアップ URI、ミーティング サービス URI など) を使用する要求を拒否します。サービス URI は、SIP プロファイルで指定します。プロファイルは、SIP デバイスに割り当てられます。Cisco Unified Communications Manager は、Cisco 固有の SIP 拡張の使用を要求する機能をブロックします。



(注)

Cisco Unified Communications Manager のライセンス ポリシーに従い、サードパーティ製ワイヤレス SIP クライアントまたはデバイスは、[サードパーティの SIP デバイス (拡張)(Third-party SIP Device (Advanced))] に設定してください。

Cisco SIP 拡張の詳細については、シスコの営業担当者にお問い合わせください。

参考情報

- 「SIP を実行しているサードパーティ製の電話機の設定チェックリスト」(P.B-1)
- 「電話番号の設定」(P.61-1)
- 「Cisco Unified IP Phone の設定」(P.92-1)
- 「SIP プロファイルの設定」(P.102-1)
- 「エンド ユーザの設定」(P.113-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」